

## 政策法務フォーラム「地域づくりの手法(ツール)を磨く」

地方は悲鳴を上げています。なかなか改善されない地方経済、毎年のように机上で変わっていく行政システム、地域と向かい合いながら、先の見えない現実には自治体はどうしたら地域を活かす政策を展開できるのか・・・正直考えあぐねています。

私たちは物心共に豊かな地域づくりを目指しています。経済も行政システムも不安定な今こそ、地域が生き生きと元気になるために、何を、どうすれば有効なのか、現場の視点で地域づくりの手法を皆さんと多いに論じたいと思います。

ちば自治体法務研究会

日 時：平成20年1月27日(日)午後1時～4時30分

場 所：千葉市美浜区 富士通幕張システムラボラトリ

(JR京葉線海浜幕張駅北口徒歩10分、<http://jp.fujitsu.com/facilities/makuhari/>)

参加費：1,000円

主催：ちば自治体法務研究会 後援 自治体学会

申し込み・問合せ：[info@chiba-houmuken.org](mailto:info@chiba-houmuken.org)

### ◎第1部 基調講演「実践と思考の繰り返しで政策を育む」(1:15-2:15)

森田 朗 東京大学公共政策大学院院長

### ◎第2部 パネルディスカッション(2:30-4:30)

#### ・第1分科会 “政策法務”「条例が必要となる場面」

条例制定権の拡大と限界を探り、規律密度の緩和や地域の立法事実が条例による法令の上書権に如何に担保できるのかを考えたい。

コーディネータ 宮崎伸光 (法政大学法学部教授)

パネリスト 橘 幸信 (早稲田大学大学院法務研究科非常勤講師)、磯崎初仁 (中央大学法学部教授)、新保浩一郎 (ちば自治体法務研究会)

#### ・第2分科会 “政策訟務”「訴訟をマネジメントする」

自治体の訴訟が増えている。訴訟の現状と課題を整理しながら、訴訟を恐れることなく、果敢にマネジメントすることで、行政運営のプラスに点ずる方法を論じたい。

コーディネータ 鈴木庸夫 (千葉大学法科大学院教授)

パネリスト 金井利之 (東京大学公共政策大学院教授)、出石 稔 (関東学院大学法学部教授)、鏑水三千男 (ちば自治体法務研究会)

・第3分科会 “政策協働”「地域コミュニティとソフトロー」

協働によるまちづくりの現状と課題や、新しい公共空間、“協働”概念の整理、担い手などを整理し、合意形成の仕組み考えることで新しい協働のかたちを模索したい。

コーディネータ 小川有美（立教大学法学部教授）

パネリスト 名和田是彦（法政大学法学部教授）、関谷 昇（千葉大学法経学部准教授）、西口 元（早稲田大学法学部講師）

第4分科会 鼎談 “政策観光”「常に必然を創出する集客戦略」

地域自らが地域をプロデュースする集客システムを構築し、地域ぐるみで取り組むことで、経済効果も視野に入れた「着地型観光」により心豊かな地域づくりを論じたい。

森田 朗（前掲）、大下 茂（立教大学観光学部講師）、菅原由美子（菅原由美子まちづくり塾主宰）